

9・9「国会包囲」、全国各地で街頭宣伝やデモへ

事故と戦争で人を殺す

沖縄に
連帯して

オスプレイ配備に怒りのNOを!



9月9日に県民大会

台風で延期となった沖縄県民大会は、9月9日(日、午前11時～)に「11万人規模」で開催されることになりました。全国で反対行動に立ちましょ。

普天間基地の撤去が先だ

オスプレイの普天間配備は、きわめて挑戦的です。沖縄県民が求めてきたのは普天間基地の撤去です。それを力づくで押しつぶそうとしています。

世界一危険なオスプレイは墜落事故が必至です。開発段階で30人が死亡、今年4月にはモロッコで墜落4人が死傷。6月には米フロリダ州で墜落しました。住宅地で墜落したら大変です。



公開されているだけでもこれだけの全国展開。中国地方を横断する「ブラウンルート」も存在することが明らかになった



普天間基地は台湾やフィリピンまでをカバーし、岩国基地は朝鮮半島全体をカバーする出撃拠点になっている

全国7ルートで低空飛行

沖縄配備だけでなく、山口県の岩国基地と、キャンプ富士を拠点にして、全国7ルートで、地上から150mの低空飛行訓練を10月から行う予定です(左図)。墜落の危険性がさらに高まるだけでなく、全国を戦争のための実戦訓練場にするのです。

朝鮮・中国への戦争準備

オスプレイの行動半径は、(兵員24人搭乗時)空中給油なしで半径600km、空中給油1回で半径1000kmといわれ、CH46ヘリの4倍です(右図)。航続距離は約4000kmまで可能です。

オスプレイの配備は、アメリカの「新軍事戦略」に基づいた、北朝鮮や中国への戦争を想定したものです。事故と戦争で人を殺すオスプレイ配備に、全国から怒りの声を猛然とあげよう!

9月9日(日)AM11時、国会正門前へ!

■ 9.9 沖縄県民大会と同時アクション『国会包囲』
とき:9日(日)11:00～12:00 / 場所:国会周辺(国会正門向かいの通りから集まり、国会包囲を目指す)
/ 主催: 9.9 沖縄県民大会と同時アクション [沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック(TEL:090-3910-4140)]

とめよう戦争への道! 百万人署名運動

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-20-7-303 tel.fax.03-5211-5415
million@mqc.biglobe.ne.jp http://million.at.webry.info/

原発再稼働、消費増税、「領土問題」あおって改憲・戦争に向かう

野田を許すな!

原発の再稼働を強行し、消費増税法案を強行した野田首相を許せません。首相官邸前、国会前、霞ヶ関周辺では、毎週金曜日の夜に大規模な抗議行動が続けられています。みんな真剣に怒って立ち上がっています。「再稼働撤回、原発なくせ」の闘いをもっともっと大きくしていきましょう。

「領土」争いなんて、もうやめよう

いま、「領土」をめぐる激しい対立が起こっています。直接のきっかけは、石原都知事が「尖閣諸島を買い取る」と挑発し、それと連動して野田首相が国有化方針を表明し、国会で「必要とあれば自衛隊も出動させる」とまで発言したことです。そうした中で、韓国の李明博大統領が独島（トクト。日本名で竹島）に行き（8/10）、野田首相らは「韓国側の不法占拠」と非難しました。これらの事態をどう考え、何をすべきでしょうか。

日本政府が釣魚台（日本名で尖閣諸島）を「領土」としたのは1985年、日清戦争の過程でした。「竹島」を「領土」としたのは1905年、1910年の韓国併合に向かう過程でした。いずれも日本が領土拡大の侵略戦争と植民地支配を推し進めていった歴史の中にあります。「領土問題」は戦争の結果であり原因だということを忘れてはなりません。

「領土問題」があちこちで激化している根本原因は、世界大恐慌が進展し、各国の経済的・政治的危機が著しく高まり、その国内的危機を対外的に転嫁



原発再稼働反対の「国会包囲行動」が呼びかけられた7月29日（日）、国会正門の道路は労働者市民の怒りで埋め尽くされた。6.29首相官邸前に「20万」の人波が押し寄せ、17万人結集の7.16「さようなら原発10万人集会」に続いての大規模な抗議闘争となった

しようという衝動が高まっているからです。国家主義や排外主義の意図的な扇動です。これを許せば再び戦争への道です。

職場や学園から改憲に反対する声をあげよう

野田政権のもとで国会の憲法審査会が進められ、国家緊急権の制定、9条改憲、労働三権の改悪や結社・表現の自由の制限など、とんでもない改憲論議が行われています。この春には自民党など3党から新たな改憲案がだされました。「領土問題」を口実に改憲が強まるのは不可避です。

職場や学園から改憲反対の闘いを！ 私たちが求めるのは戦争ではありません。アジア・世界の民衆との連帯であり、生きられる社会にすることです。

原発反対の官邸・国会前「金曜行動」に集まろう！ 全国に「金曜行動」を広げよう！